

古屋誠一展 Aus den Fugen
2007, January. 27(Sat)—April.3(Tue)



展覧会 curator : 小原真史

ヴァンジ彫刻庭園美術館
The Vangi Sculpture Garden Museum

Exhibition

古屋誠一展「Aus den Fugen」

会期：2007年1月27日（土）—4月3日（火）

主催：ヴァンジ彫刻庭園美術館

Introduction

静岡県西伊豆に生まれた古屋誠一は大学を卒業後、シベリア経由でヨーロッパに渡り、1978年オーストリアのグラーツで妻となる女性、クリスティーネ・ゲッスラーと出会う。共に暮らす女性を撮影するという日常的な営みは、出会いから7年半後の1985年に突然の中断を余儀なくされる。1983年頃から精神を病んだクリスティーネは息子と3人で住んでいた東ベルリンのアパートから身を投げて自ら命を絶ち、残された彼女のポートレイトはその意味を変えてしまったからだ。妻の死から十数年を経て整理された「遺影」は古屋の手によって写真集として世に出され、彼女の姿は「写真家古屋誠一」と切り離せないものとなった。「クリスティーネ」は死後の生を与えられているかのようでもあり、その存在は彼女亡き後に撮られた古屋の写真にも影を落としているように見える。

見る度ごとに違う細部が立ち上がるその写真は引き延ばされ、印画紙の上に焼きつけられた時、写真集とは別の相貌を見せるだろう。古屋の写真行為からは機械によって捉えられ、物質として残された映像をどのように身体化していくのか、私的な記憶という共有不可能なものがいかにして他者に向かって開かれていくのかという回路の一端が垣間見られる。そして、それは媒介としての写真の可能性そのものであり、個人的なアルバムから抜け出し、はからずも「作品」となってしまった写真の在りようを我々に見せてくれるだろう。今、古屋誠一は自らの写真の中に何を見るのか、そして「死後の生」を生きる者からの眼差しにどのように応えるのだろうか？

未発表作品も展示予定。

Profile

古屋誠一（ふるや・せいいち）

1950年静岡県生まれ。東京写真短期大学（現・東京工芸大学）卒業。73年にシベリア経由でヨーロッパに向かい、各地に点住し87年以降はオーストリアのグラーツを拠点に活動。「カメラ・オーストリア」誌の創刊、編集、「フィルム・シュタットバルク」の活動に参加し、日本の写真家をヨーロッパに紹介するなど、幅広い活動を展開している。写真集に、1980年に滞在したアムステルダムからなる写真集「AMS」また1978年に結婚し85年に自ら命を絶った妻クリスティーネの肖像やヨーロッパ各地を撮影し続ける<<Gravitation>>シリーズを編んだ「Mémoires」、「Seiichi Furuya Mémoires 1995」や「Christine Furuya-Gössler Mémoires, 1978-1985」、「Portrait」がある。2002年、「Last Trip to Venice」で第27回伊奈信男賞受賞。2003年、日本の現代写真家を紹介する展覧会「Keep in Touch」をグラーツにて開催。2004年、ウィーン・アルベティーナ美術館にて個展開催と同時に「alive」を出版、さがみはら写真賞を受賞。2006年10月に赤々舎より、初めて公開するクリスティーネの手記を基に編集された写真集「Mémoires 1983」を出版。

本展覧会キュレーター

小原真史（こはら・まさし）

1978年愛知県生まれ。映像作家・写真批評家

早稲田大学第一文学部卒業。多摩美術大学大学院修士課程芸術学科修了。「中平卓馬試論」（未刊行）で第10回重森弘淹写真評論賞受賞。監督作品にドキュメンタリー映画『カメラになった男—写真家 中平卓馬』がある。古屋誠一写真展「Aus den Fugen」展キュレーターを務めながら、現在古屋誠一のドキュメンタリー映画を撮影中。

Events

古屋誠一×小原真史トークショー「脱臼した時間」
1月27日（土）14:00—
要予約（お問合せ：055-989-8785）

古屋誠一はどのような時間の層を行き来しながら、亡き妻に対して応答し続けているのだろうか。写真家古屋誠一が指し示してきた場所は我々の安定した時間の調和が破られるような「脱臼した時間」の中にあるように思われる。写真展のタイトルである「Aus den Fugen」は『ハムレット』の「The time is out of joint」（時間の関節が外れてしまったのだ）という台詞のドイツ語訳からとられている。

Museum Information

会場

ヴァンジ彫刻庭園美術館 企画展アートスペース
〒411-0931 静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘347-1

開館時間

1月 10:00—16:30（最終入館は閉館の30分前まで）
2・3月 10:00—17:00
4月 10:00—18:00

入館料

1・2・3月 大人1000(900)円 高・大学生 500(400)円 小・中学生無料
4月 大人1200(1100)円 高・大学生800(700)円 小・中学生500(400)円
カッコ内は20名様以上の団体料金

アクセス

マイカーの場合

東京方面から：東名裾野ICより R246経由、沼津方面へ10km

名古屋方面から：東名沼津ICより R246経由、御殿場方面へ5km

電車の場合：JR東海道線「三島駅」下車

三島駅北口から無料シャトルバスが出ています。

シャトルバス時刻表

行き 三島駅北口（新幹線口）発

時間	9	10	11	12	13	14	15	16
平日	40	40	40		00	00	00	00
土・日・祝日	40	40	40		40	40	40	

お問い合わせ

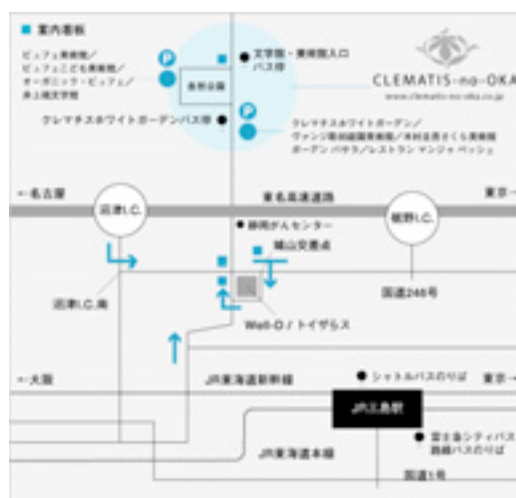
お電話でのお問い合わせ

クレマチスの丘総合案内

TEL. 055-989-8787

美術館公式HP

URL <http://www.vangi-museum.jp/>



Images

右の作品について画像資料（デジタルデータのみ）をご用意しております。ご希望の画像にお記しいただき、下記の必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みくださいませ。

Fax 055-989-8790

貴媒体名

掲載号

発売日 放映日 月 日

貴社名

ご担当者名

TEL&FAX

E-MAIL

ご住所

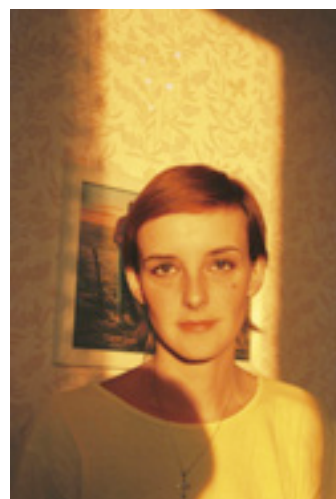
〒 -

資料お届け期限

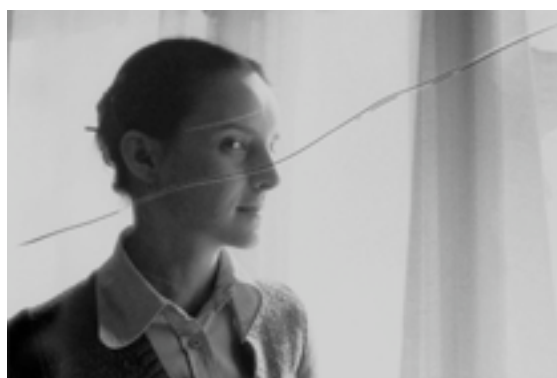
月 日までにご希望



Graz 2000 □



Eastberlin 1985 □



Graz 1979 □

〒411-0931

静岡県駿東郡長泉町クレマチスの丘347-1

ヴァンジ彫刻庭園美術館

古屋誠一展 広報担当行き

Tel.055-989-8785